



2026年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2026年5月13日

上場会社名 ジャパンマテリアル株式会社
 コード番号 6055 URL <https://www.j-materials.jp/>

上場取引所 東名

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 田中 宏典

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 橋本 真一

TEL 059-399-3821

定時株主総会開催予定日 2026年6月24日

配当支払開始予定日

2026年6月25日

有価証券報告書提出予定日 2026年6月23日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期の連結業績(2025年4月1日～2026年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	57,976	10.1	14,640	30.9	15,123	33.4	10,592	34.5
2025年3月期	52,678	8.4	11,188	44.2	11,340	37.8	7,872	38.6

(注) 包括利益 2026年3月期 11,072百万円 (29.1%) 2025年3月期 8,578百万円 (44.7%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年3月期	103.07		18.1	21.4	25.3
2025年3月期	76.62		15.5	18.6	21.2

(参考) 持分法投資損益 2026年3月期 46百万円 2025年3月期 51百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	75,373	63,217	83.1	609.54
2025年3月期	65,702	54,583	82.4	526.79

(参考) 自己資本 2026年3月期 62,644百万円 2025年3月期 54,130百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年3月期	9,605	6,419	2,560	15,648
2025年3月期	14,195	2,737	2,145	14,945

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年3月期		0.00		24.00	24.00	2,466	31.3	4.8
2026年3月期		0.00		32.00	32.00	3,288	31.0	5.6
2027年3月期(予想)		0.00		35.00	35.00		33.3	

3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	29,000	13.0	7,500	23.4	7,500	20.7	5,100	18.8	49.62
通期	61,000	5.2	15,500	5.9	15,500	2.5	10,800	2.0	105.08

注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期	105,149,520 株	2025年3月期	105,149,520 株
期末自己株式数	2026年3月期	2,375,340 株	2025年3月期	2,394,440 株
期中平均株式数	2026年3月期	102,768,304 株	2025年3月期	102,749,880 株

(参考)個別業績の概要

2026年3月期の個別業績(2025年4月1日～2026年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	31,450	9.1	7,621	46.3	11,419	45.4	8,433	48.8
2025年3月期	28,822	8.1	5,211	24.7	7,855	20.3	5,667	23.2

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期	82.07	
2025年3月期	55.16	

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	56,937	49,614	87.1	482.76
2025年3月期	49,132	43,407	88.3	422.44

(参考) 自己資本 2026年3月期 49,614百万円 2025年3月期 43,407百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報等の注記)	12
(収益認識関係)	14
(1株当たり情報)	15
(重要な後発事象)	15

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善などを背景に緩やかな回復基調が継続しております。一方で、ウクライナ情勢の長期化や米国の政策動向の影響に加え、中東情勢の緊迫化や円安の進行に伴うエネルギー資源を中心とした物価上昇など、依然として先行き不透明な状況にあります。

当社グループが属する業界においては、生成AI関連を中心に高い成長が引き続き見込まれる中、先端半導体需要の高まりを背景に、半導体メーカーの設備投資が拡大しました。

このような状況の中、当社グループのエレクトロニクス関連事業において、顧客の設備投資に伴い発生するイニシャル部門（特殊ガス供給装置製造、供給配管設計施工）は、主要顧客である半導体工場における設備投資の継続により好調に推移しました。また、生産活動に伴い発生するオペレーション部門（特殊ガス販売管理業務、技術サービス等）は、新たな半導体工場でのオペレーションが2024年度から開始されたことに加え、主要顧客である半導体工場において高水準の生産活動が継続されたことにより、設備管理業務や半導体製造装置メンテナンスに加え、海外における特殊ガス販売や半導体製造装置部品の製造・販売を中心に堅調に推移しました。

グラフィックスソリューション事業においては、放送局向けなどの案件が減少したものの、概ね堅調に推移しました。

太陽光発電事業では、三重県内で3か所の太陽光発電所が稼働しております。

この結果、当連結会計年度の売上高は57,976百万円（前連結会計年度比10.1%増）、営業利益は14,640百万円（前連結会計年度比30.9%増）、経常利益は15,123百万円（前連結会計年度比33.4%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は10,592百万円（前連結会計年度比34.5%増）となりました。

各セグメントの業績は次のとおりであります。

① エレクトロニクス関連事業

当事業におきましては、特殊ガス供給装置の開発製造、供給配管設計施工等のイニシャル部門では、主要顧客である半導体工場の設備投資が拡大・継続されたことにより、売上高、セグメント利益ともに増加しました。

また、特殊ガス販売管理業務、技術サービス等を提供するオペレーション部門では、2024年度から開始した新たな半導体工場でのオペレーションが増加したことに加え、主要顧客であるNAND型フラッシュメモリ工場における高水準の生産活動が継続されたことにより、売上高、セグメント利益とも増加しました。

この結果、売上高は56,047百万円（前連結会計年度比10.9%増）、セグメント利益は15,616百万円（前連結会計年度比28.4%増）となりました。

② グラフィックスソリューション事業

当事業におきましては、積極的な営業活動を行った結果、放送局向けなどの案件は減少したものの、売上高及びセグメント利益は概ね堅調に推移しました。

この結果、売上高は1,719百万円（前連結会計年度比10.5%減）、セグメント利益は336百万円（前連結会計年度比7.8%減）となりました。

③ 太陽光発電事業

当事業におきましては、三重県内で3か所の太陽光発電所が稼働しており、売上高及びセグメント利益は堅調に推移しました。

この結果、売上高は209百万円（前連結会計年度比4.1%増）、セグメント利益は124百万円（前連結会計年度比7.1%増）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産の部)

当連結会計年度末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ9,670百万円増加し、75,373百万円となりました。これは現金及び預金が5,300百万円増加、受取手形、売掛金及び契約資産が2,524百万円増加、仕掛品が1,422百万円増加したことによります。

(負債の部)

当連結会計年度末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ1,036百万円増加し、12,155百万円となりました。これは主に未払費用が475百万円増加、支払手形及び買掛金が318百万円増加、未払法人税等が286百万円増加したことによります。

(純資産の部)

当連結会計年度末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ8,633百万円増加し、63,217百万円となりました。これは主に配当金の支払2,466百万円があったものの、親会社株主に帰属する当期純利益10,592百万円の計上により利益剰余金が8,126百万円増加したことによります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べて702百万円増加し、15,648百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は9,605百万円（前連結会計年度は14,195百万円の収入）となりました。収入の主な内訳は、税金等調整前当期純利益15,091百万円、減価償却費1,257百万円、仕入債務の増加306百万円、リース債権及びリース投資資産の減少236百万円であり、支出の主な内訳は、法人税等の支払額4,130百万円、売上債権の増加2,479百万円、棚卸資産の増加1,347百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は6,419百万円（前連結会計年度は2,737百万円の支出）となりました。収入の主な内訳は、定期預金の払戻による収入4,388百万円であり、支出の主な内訳は、定期預金の預入による支出8,948百万円、子会社株式の取得による支出1,107百万円、有形固定資産の取得による支出708百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は2,560百万円（前連結会計年度は2,145百万円の支出）となりました。支出の主な内訳は、配当金の支払額2,466百万円であります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期
自己資本比率 (%)	81.8	83.0	84.4	82.4	83.1
時価ベースの自己資本比率 (%)	392.5	461.6	438.6	189.9	214.5
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (%)	19.6	12.2	12.2	2.5	4.1
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	698.9	657.7	529.8	2,227.7	1,265.2

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注) 1 いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

2 株式時価総額は、自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

3 キャッシュ・フローは、連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債を対象としております。また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

(4) 今後の見通し

今後におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果などを背景に、緩やかな回復基調が継続されるものと見込まれます。一方で、資源・原材料価格の高止まりや国内物価の上昇に加え、米国の政策動向や中東情勢の動向など、引き続き不透明な状況で推移すると予測されます。

このような状況の中、生成A Iの普及・拡大及びデータセンター向けの需要拡大に伴う先端半導体向けの設備投資の拡大が見込まれます。当社グループは、主要顧客における設備投資に対するイニシャル部門、主要顧客の生産に伴うオペレーション部門それぞれにおいて、顧客ニーズに応えるべく事業展開を図ることで、2027年3月期につきましては、売上高61,000百万円（前連結会計年度比5.2%増）、営業利益15,500百万円（前連結会計年度比5.9%増）、経常利益15,500百万円（前連結会計年度比2.5%増）、親会社株主に帰属する当期純利益10,800百万円（前連結会計年度比2.0%増）を予想しております。

各セグメントの見通しは次のとおりであります。

① エレクトロニクス関連事業

当事業のオペレーション部門におきましては、当社グループ内において技術者を育成し人材を確保することで事業領域を拡大し、当社グループの強みであります「トータルファシリティマネジメント(TFM)」を活かして他社との差別化を図り、お客様の期待以上の価値を提供することで安定収益基盤の拡大を図ってまいります。また、イニシャル部門では、主要顧客における設備投資が実施されることが見込まれるため、積極的な営業活動を展開することで確実に受注に繋げてまいります。

② グラフィックスソリューション事業

当事業におきましては、デジタルサイネージ分野では商品のコンテンツ制作からシステム構築のトータルソリューションの提供を拡大してまいります。さらに非接触インタラクティブサイネージなどのデジタルサイネージ向け製品や、ビデオプロセッサなどのグラフィックス製品を中心に積極的な営業活動を展開することで販売拡大を図ってまいります。

今後も安全最優先の経営理念の下、持続可能な社会発展に貢献し、一層成長できるようステークホルダーの皆様との連携を深め、SDGsの視点に立った環境、社会、ガバナンスへの取り組みを強化してまいります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,318	21,618
受取手形、売掛金及び契約資産	23,559	26,084
リース債権及びリース投資資産	257	95
商品及び製品	1,744	1,728
仕掛品	1,082	2,504
原材料及び貯蔵品	3,650	3,604
その他	449	248
貸倒引当金	△72	△1
流動資産合計	46,990	55,882
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	14,058	14,652
減価償却累計額	△3,028	△3,702
建物及び構築物（純額）	11,030	10,949
機械装置及び運搬具	2,757	2,828
減価償却累計額	△1,986	△2,163
機械装置及び運搬具（純額）	770	664
工具、器具及び備品	1,725	1,972
減価償却累計額	△1,266	△1,391
工具、器具及び備品（純額）	458	580
土地	2,509	2,509
リース資産	398	431
減価償却累計額	△278	△170
リース資産（純額）	119	260
建設仮勘定	149	19
有形固定資産合計	15,038	14,984
無形固定資産		
のれん	818	664
顧客関連資産	807	689
技術関連資産	120	105
その他	85	77
無形固定資産合計	1,831	1,536
投資その他の資産		
投資有価証券	413	1,877
リース債権及びリース投資資産	298	67
差入保証金	119	129
繰延税金資産	824	720
その他	301	282
貸倒引当金	△114	△108
投資その他の資産合計	1,842	2,968
固定資産合計	18,712	19,490
資産合計	65,702	75,373

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,772	4,090
未払金	1,175	1,070
未払費用	661	1,137
未払法人税等	2,498	2,784
賞与引当金	968	725
その他	618	815
流動負債合計	9,694	10,624
固定負債		
リース債務	105	158
退職給付に係る負債	1,103	1,159
資産除去債務	31	32
その他	182	180
固定負債合計	1,424	1,530
負債合計	11,118	12,155
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,317	1,317
資本剰余金	1,849	1,869
利益剰余金	50,698	58,824
自己株式	△1,010	△1,002
株主資本合計	52,855	61,009
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	89	301
為替換算調整勘定	1,307	1,393
退職給付に係る調整累計額	△122	△59
その他の包括利益累計額合計	1,274	1,635
非支配株主持分	453	573
純資産合計	54,583	63,217
負債純資産合計	65,702	75,373

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
売上高	52,678	57,976
売上原価	36,518	38,220
売上総利益	16,160	19,755
販売費及び一般管理費	4,971	5,115
営業利益	11,188	14,640
営業外収益		
受取利息	55	95
受取配当金	6	16
持分法による投資利益	51	46
為替差益	—	209
受取賃貸料	14	16
助成金収入	13	10
経営管理料	49	55
その他	30	42
営業外収益合計	222	494
営業外費用		
支払利息	6	7
為替差損	61	—
不動産賃貸費用	2	2
その他	0	1
営業外費用合計	70	11
経常利益	11,340	15,123
特別利益		
固定資産売却益	0	0
特別利益合計	0	0
特別損失		
固定資産除売却損	11	32
その他	—	0
特別損失合計	11	32
税金等調整前当期純利益	11,329	15,091
法人税、住民税及び事業税	3,533	4,396
法人税等調整額	△173	△16
法人税等合計	3,359	4,380
当期純利益	7,969	10,711
非支配株主に帰属する当期純利益	97	119
親会社株主に帰属する当期純利益	7,872	10,592

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
当期純利益	7,969	10,711
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	20	211
為替換算調整勘定	585	85
退職給付に係る調整額	2	62
その他の包括利益合計	608	360
包括利益	8,578	11,072
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	8,439	10,952
非支配株主に係る包括利益	138	119

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位: 百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,317	1,821	44,776	△1,017	46,897
当期変動額					
剰余金の配当			△2,054		△2,054
親会社株主に帰属する当期純利益			7,872		7,872
自己株式の処分		28		7	35
連結範囲の変動			104		104
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	—	28	5,922	7	5,957
当期末残高	1,317	1,849	50,698	△1,010	52,855

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	69	763	△124	707	315	47,920
当期変動額						
剰余金の配当						△2,054
親会社株主に帰属する当期純利益						7,872
自己株式の処分						35
連結範囲の変動						104
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	20	544	2	567	138	705
当期変動額合計	20	544	2	567	138	6,663
当期末残高	89	1,307	△122	1,274	453	54,583

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,317	1,849	50,698	△1,010	52,855
当期変動額					
剰余金の配当			△2,466		△2,466
親会社株主に帰属する当期純利益			10,592		10,592
自己株式の処分		19		8	27
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	—	19	8,126	8	8,153
当期末残高	1,317	1,869	58,824	△1,002	61,009

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	89	1,307	△122	1,274	453	54,583
当期変動額						
剰余金の配当						△2,466
親会社株主に帰属する当期純利益						10,592
自己株式の処分						27
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	211	85	62	360	119	479
当期変動額合計	211	85	62	360	119	8,633
当期末残高	301	1,393	△59	1,635	573	63,217

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	11,329	15,091
減価償却費	1,150	1,257
のれん償却額	140	139
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△18	△81
賞与引当金の増減額 (△は減少)	314	△242
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	143	146
受取利息及び受取配当金	△62	△112
支払利息	6	7
為替差損益 (△は益)	27	△40
固定資産除売却損益 (△は益)	10	31
売上債権の増減額 (△は増加)	△728	△2,479
棚卸資産の増減額 (△は増加)	1,443	△1,347
リース債権及びリース投資資産の増減額 (△は増加)	464	236
差入保証金の増減額 (△は増加)	2	△0
仕入債務の増減額 (△は減少)	994	306
前渡金の増減額 (△は増加)	988	40
その他	450	688
小計	16,655	13,642
利息及び配当金の受取額	64	101
利息の支払額	△6	△7
法人税等の支払額	△2,518	△4,130
営業活動によるキャッシュ・フロー	14,195	9,605
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△2,255	△8,948
定期預金の払戻による収入	1,717	4,388
有形固定資産の取得による支出	△2,126	△708
無形固定資産の取得による支出	△43	△20
子会社株式の取得による支出	—	△1,107
その他	△29	△22
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,737	△6,419
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△2,054	△2,466
その他	△90	△94
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,145	△2,560
現金及び現金同等物に係る換算差額	94	77
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	9,407	702
現金及び現金同等物の期首残高	5,367	14,945
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	170	—
現金及び現金同等物の期末残高	14,945	15,648

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

1 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、製品・商品販売及びサービス別に事業部を置き、国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

(2) 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

「エレクトロニクス関連事業」では、主に特殊ガス供給装置製造、供給配管設計施工、特殊ガス販売管理業務、技術サービス等を行っております。「グラフィックスソリューション事業」では、主にグラフィックボード、デジタルサイネージ関連製品の販売をしております。「太陽光発電事業」では、太陽光発電による電力会社への売電を行っております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成のために採用される会計方針に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格を勘案して決定しております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計
	エレクトロニクス 関連事業	グラフィックス ソリューション事業	太陽光発電事業	
売上高				
外部顧客への売上高	50,555	1,921	200	52,678
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—
計	50,555	1,921	200	52,678
セグメント利益	12,165	364	116	12,645
セグメント資産	54,016	781	720	55,518
その他の項目				
減価償却費	976	4	56	1,036
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	2,086	4	12	2,102

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計
	エレクトロニクス 関連事業	グラフィックス ソリューション事業	太陽光発電事業	
売上高				
外部顧客への売上高	56,047	1,719	209	57,976
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—
計	56,047	1,719	209	57,976
セグメント利益	15,616	336	124	16,077
セグメント資産	58,066	1,264	670	60,001
その他の項目				
減価償却費	1,078	4	53	1,137
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	480	12	—	493

4 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

売上高	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	52,678	57,976
セグメント間取引消去	—	—
連結財務諸表の売上高	52,678	57,976

(単位：百万円)

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	12,645	16,077
全社費用(注)	△1,470	△1,456
その他	13	20
連結財務諸表の営業利益	11,188	14,640

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(単位：百万円)

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	55,518	60,001
全社資産(注)	10,184	15,371
連結財務諸表の資産合計	65,702	75,373

(注) 全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない親会社の余資運用資金(現金及び預金等)及び管理部門に係る資産等
であります。

(単位：百万円)

その他の項目	報告セグメント計		調整額		連結財務諸表計上額	
	前連結 会計年度	当連結 会計年度	前連結 会計年度	当連結 会計年度	前連結 会計年度	当連結 会計年度
減価償却費	1,036	1,137	114	119	1,150	1,257
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	2,102	493	124	227	2,226	720

(注) 調整額のうち、減価償却費は管理部門における発生額であり、有形固定資産及び無形固定資産の増加額は管理部門における取得額であります。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計
	エレクトロニクス 関連事業	グラフィックス ソリューション事業	太陽光発電事業	
特殊ガス供給装置製造	883	—	—	883
供給配管設計施工	14,122	—	—	14,122
特殊ガス販売管理業務	17,159	—	—	17,159
技術サービス	17,895	—	—	17,895
グラフィックボード等の販売	—	1,921	—	1,921
太陽光発電	—	—	200	200
その他	193	—	—	193
顧客との契約から生じる収益	50,254	1,921	200	52,376
その他の収益	301	—	—	301
外部顧客への売上高	50,555	1,921	200	52,678

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計
	エレクトロニクス 関連事業	グラフィックス ソリューション事業	太陽光発電事業	
特殊ガス供給装置製造	2,638	—	—	2,638
供給配管設計施工	17,949	—	—	17,949
特殊ガス販売管理業務	15,699	—	—	15,699
技術サービス	19,502	—	—	19,502
グラフィックボード等の販売	—	1,719	—	1,719
太陽光発電	—	—	209	209
その他	194	—	—	194
顧客との契約から生じる収益	55,983	1,719	209	57,912
その他の収益	63	—	—	63
外部顧客への売上高	56,047	1,719	209	57,976

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
1株当たり純資産額	526円79銭	609円54銭
1株当たり当期純利益	76円62銭	103円07銭

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、次のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	7,872	10,592
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)	7,872	10,592
普通株式の期中平均株式数(株)	102,749,880	102,768,304

3 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
純資産の部の合計額(百万円)	54,583	63,217
純資産の部の合計額から控除する金額(百万円)	453	573
(うち非支配株主持分(百万円))	(453)	(573)
普通株式に係る期末の純資産額(百万円)	54,130	62,644
1株当たり純資産額の算定に用いられた 期末の普通株式の数(株)	102,755,080	102,774,180

(重要な後発事象)

該当事項はありません。